

湯の街の歴史を歩く

伊香保の歴史は古く、万葉集の東歌の中で歌われていることから、奈良時代の伊香保が考察できます。特に石段街は伊香保温泉の象徴で、天正4（1576）年に石段が整備されたことに始まり、約400年の歴史を誇ります。当時、丘陵地の湯元から温泉を引き、中央の湯樋を通して旅館へ供給する画期的な仕組みが構築され、日本初の温泉都市計画とも称されました。明治・大正期には土産物店や射的場が並び、娯楽街が形成され、戦後は温泉街の顔として親しまれました。現在の365段の石段は昭和55（1980）年から5年かけて改修され、「365日温泉街が賑わうように」との願いが込められています。石畳の上を歩けば、湯の街情緒あふれる風景が広がります。四季折々の風景と共に歴史の重みを感じることができ、今なお多くの観光客を魅了してやみません。



異国情緒漂う佛光山法水寺

水沢から伊香保温泉へと向かう県道沿いに開山された佛光山法水寺は、台湾を本山とする臨済宗佛光山派の寺院です。境内は238段の石段を上り切った先にあり、視界を遮るものが何もなく、標高約700mから雄大な赤城山と渋川市の街並みを一望できます。「誰もが隔たりなく参拝できるように」という配慮から、宗派に関係なく自由に無料で参拝・拝観が可能です。清閑な伽藍と異国情緒が漂う宝仏殿には2万体の仏像が並び、写経堂・坐禅堂では前日までの予約で写経や座禅体験が無料で体験できます。境内カフェでは肉魚不使用の台湾式軽食が楽しめ、絶景と癒やしの空間を提供しています。伊香保で台湾仏教の世界観を味わってみてはいかがでしょうか。

YUMMY's TOPIC!

OMIYAGE INFORMATION

カステラ工房虎ノ助 湯の花カステラ

伊香保温泉街から車で北に約5分の場所にあるカステラ専門店。上白糖を使わずブラウンシュガーを100%使用した虎ノ助の看板カステラはコクのある甘さが絶品です。ふんわり&しっとりな食感で大人も子どもも大好きな味。大きさも大、中、小とありお土産に最適です。



水沢うどん

水沢うどんは、400年以上の歴史を誇る日本三大うどんの一つです。小麦と水、塩だけで打つ麺は透明感ある白さと強いコシが自慢。澄んだつゆに冷・温どちらも映え、水澤寺の門前には約1.5kmに渡って十数軒のうどん店が建ち並び、「水沢うどん街道」とよばれています。全国から訪れる観光客に愛されているご当地うどんを、ぜひお試しください。